

(2) かいこをかってまゆをとる仕事（ようさんの仕事）

安達町が今のように発てんするもとなった仕事のひとつ
 にようさんの仕事があります。安達町の農家は昔、ほとんどの
 家でかいこをかっていました。そして、よいまゆがたくさん
 とれるように研究やくふうをしてきました。安達のきぬ
 (かいこのまゆからとった糸でおったきれ) は昔から全国でも
 有名でした。それはたくさんの人たちがいっしょうけんめい
 くふうし、努力したからなのです。今も農家には家のそば

に家よりもっと
 と大きなかいこ
 をかう家が残っ
 ています。



渡辺金吉さんの碑



佐藤善太さんの碑 (渋川)



かいこの先生たちの碑

町内にはかい
 こをかう研究を
 し、よい方法を
 みんなに教えて
 くださった先生
 たちの碑がたく
 さんたてられて
 います。



▲ようさんの仕事の様子 (かいこにえさをやる仕事)

- (そんなに) さかんだったようさんの
 仕事が、今はあまりおこなわれなくな
 りました。どうしてそうなったのかそのわ
 けをおうちの人にたずねてみましょう。
- そのかわりに今安達町の農家の人たち
 はどんな仕事にとりくんでいるか、自分
 の地いきのようすをみてしらべてみま
 しょう。



おじいさんや、おばあさんに、かいこをかう仕事についてどなんくろうがあつたのか、どなんく
 ふうをしたのか、いろいろお話を聞いてみましょう。